



2022 年 6 月 4 日 (土)

荒船山(経塚山)1422.7m:西上州

レポート by 根岸

写真・コメント提供 : 堀、吉松、高橋雄、高橋文、池戸、中島、服部、根岸

高崎を過ぎて上信越線の車窓から山頂が平坦で横に広い軍艦を彷彿させる山が荒船山であり、日本二百名山に入っている。バス便が悪いのと登山口までのアプローチが長いので、クマさん会では、2003 年 4 月と 2015 年 6 月 6 日の 2 回行っているが、昨年 6 年ぶりに企画したがコロナ禍で中止し、本年は軽井沢からレンタカーを活用し、自由度を増して再挑戦した。クリンソウの開花時期を狙い、前日まで 3 日連続の雷や雹、そして近づく梅雨前線を心配しながら、数日前の天気予報を信じて「決行」を決めた。その結果、最近のクマさん会イベントは「雨に祟られない」の噂通り、「絶好の登山日和」に恵まれた。

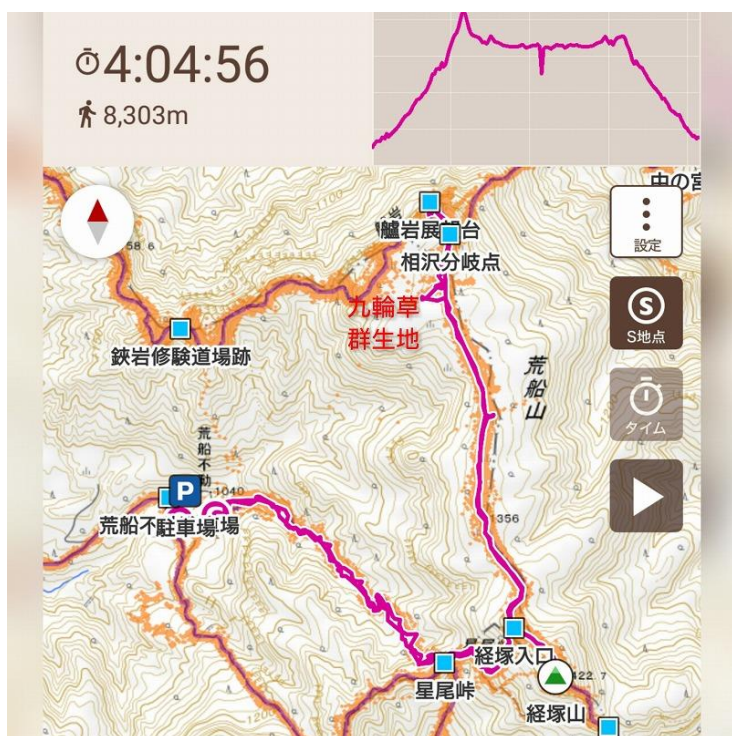


荒船山 周辺には険しい山々があり、その中に山頂が平らな山「荒船山」が浮き出ており、それがまるで荒れた海に浮かぶ船のように見えることからこの名前がつけました。山頂が平坦なのは、700 万年前の火山活動で地面に平らに流れた「荒船溶岩」が残ったものだと考えられています。

【荒船山の遠景】

写真は雄さんの Line から拝借した下仁田・妙義山側からの姿である。

群馬県の南西部に位置する妙義荒船佐久国定公園の名峰で、下仁田町、南牧村、長野県佐久市にまたがる。荒海に浮かぶ不沈航空母艦のような荒船山は、古代人も崇拝した山。どこから見ても分かる特異な山容でファンが多い。



【荒船山はアクセスが悪い】

上信電鉄下仁田から路線バス【1 日 4 本】で 30 分強の三ツ瀬から 3km に相沢登山口(左図右上奥)が有る。

我々は交通便の良い軽井沢北口からレンタカーを利用し、約 50 分で 254 号線の内山大橋から狭道を上り、荒船不動尊登山口の駐車場に向かった。



【軽井沢駅北口からレンタカー】

9時の集合時間に全員集合、待ち構えていた吉松さん、雄さんを先頭にレンタカー店へ向かう。



車は日産セレナで8人乗りに、後部席に中島さん、服部さん、堀さん、中席に吉松さん、雄さん、文さん、先頭は池戸さんと運転の根岸が乗り込んで9時15分に出発した。
好天に全員上機嫌で会話が弾んだ。

2週間前に、能勢さんから「車に余裕があれば、参加したい」と連絡があったが、状況をお話すると「辞退」された。申し訳ありませんでした。



途中、吉松さんから「荒船山の
艫(とも)岩は船の船尾の意味だが、舳先(へさき)を何と言うか知っているか？」との問いが若手連に有ったが、釣り好きの堀さんが即座に「水押・舳^{へさき}(みよし)」と答えて貫録を示した。



【内山大橋から荒船不動登山口へ】

左上写真は、荒船不動への下り口である。前回は、タクシー運転手に任せっぱなしだったので下見に来たが、来た甲斐が有った。

10時過ぎに、荒船不動前の駐車場に到着、幸い駐車スペースは十分あった。

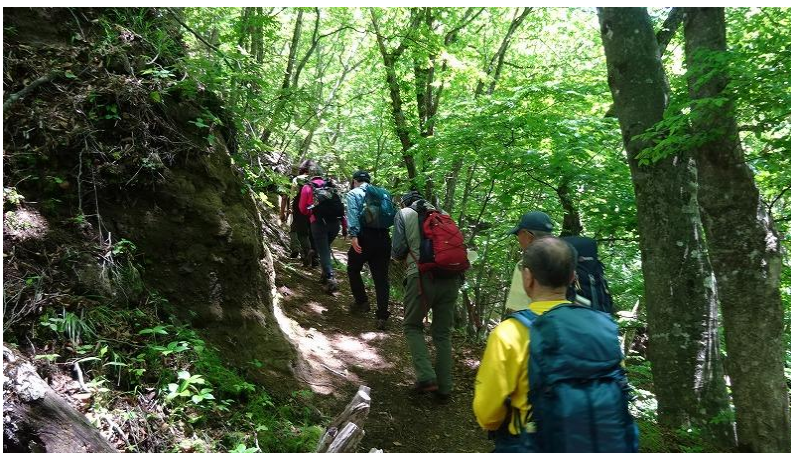


【荒船不動尊で登山準備】

荒船不動尊前で、出発前の記念撮影を行った。

昭和 55 年(1980 年)に現在の天皇の登山休憩場所である。

トイレもありました。



荒船不動尊出発は、10 時 25 分、
ほぼ予定(10 時半)通りの時間で進んだ。

木漏れ日の中、堀さん先頭にゆっくり進んだ。

【荒船不動尊登山口から、荒船山までの花たち】



サクラソウ



山つつじ(近映)



ラショウモンカズラ



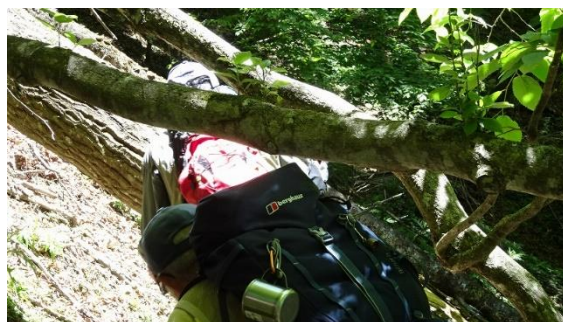
マムシグサ



タラノメ



ヤマクワガタ



星野峠には 11 時過ぎに到着した。この近辺は倒木も多く、雨が降った場合は要注意である。



分岐を経て、荒船山(経塚山)には 11 時 30 分に到着して各自記念写真を取り合った。

【荒船山から鱸(とも)岩まで】クリンソウ登場



青い空にアズキナシ(N)



山つつじ(N)



クリンソウ群生地の表示



クリンソウ群生地(分岐近く)



クリンソウ(同)



キジムシロ(分岐近く)

【クリンソウ群生地(鱸岩近く)でのスナップ写真】



中島さんのクリンソウ(近写)



それぞれバックに記念撮影。
(By 池戸さん)

雄さんからの Line コメントでは、
【奥日光千手が浜】のクリンソウは、
白、ピンク、紫などの色も有るそうです。
此方は、赤色一色ですが見事でした。





堀さん、雄さん、中島さん、吉松さんの作品から選抜 (By 筆者)



【壱岩到着】展望が開ける。
左は雄さん撮影のパノラマ写真。



誰だ?『堀さん、もう一歩前へ』と叫んだのは?



姿勢の良い吉松さんも、へっぴり腰!



クレヨンしんちゃんの作者
(臼井儀人)がここで転落死したのは
2009年9月だそうだ。(合掌)





全員そろって、巖の上で記念撮影。バックは遠くで噴煙を上げている浅間山



お酒も頂きました。(除くドライバー)



撮影許可は取りました。

その後、みんなで昼食。
堀さんと雄さんは、小屋で昼食
(トイレは壊れて使えませんでした)。



13 時 05 分: 鍍岩出発:
一部の方は、再度クリンソウ
群生地撮影へ、



【岐路のハイライト】



エゾハルゼミの抜け殻

「エゾハルゼミ」:最初から最後までずっと
鳴いていたのに、だれ一人その姿を
見れませんでしたね～😅

検索したら鳴いている動画ありました！
本当につくつくぼうしのような姿で、
カエルのような低音部分も確かに
エゾハルゼミの鳴き声でした😅
(by 服部さん)



下山は、90 分の予定が、75 分で有った。
途中のコマ:鍋割沢川



【鍋割】とは、岩の多い所をナベといい、歩きにくい悪い沢という意味から鍋割という名がつけられたと考えられている。



【荒船不動尊登山口着】14 時 20 分

丁度、パトカーが来ていて、のんびりと見回りを
しているようだった。

【温泉へ向かう】14 時 30 分

車に分乗して、荒船の湯に向かう。



下山途中:釜岩直下の停車スポットにて:
約 300m の絶壁を写す。

(14 時 47 分 頃)



この写真は、雄さんの合成写真です。
貴重な1枚です。



【荒船の湯】14 時 59 分到着



湯上りの乾杯：
何故か「本物のビール」が
無い。
運転者に気遣って、
皆さん遠慮されたようだ。
皆さん、安全運転を祈願されて、我慢して
くれた。



アイスクリームや、こんにゃく
を楽しみました。
注文は、タブレットで！



【荒船の湯を出発】16 時 30 分



【軽井沢駅で解散】17 時 10 分：
軽井沢駅南口ロータリーで解散しました。



雄さん、中島さん、服部さんは、
アウトレットモールへ
他の皆さん(4 名)は駅へ
根岸は、レンタカー屋へ、
レンタカーは保険代込み 16,800 円、
ガソリン代は 2000 円弱、
8 人で一人 2500 円徴収しました。
残り 1200 円で帰りの釜めし【1200 円】を
買わせて頂きました。
約 80km の走行でした。



【アウトレット 3 人組】の話

服部さんの後日談：
「アウトレットでは、1 時間少々時間しか
なかったので、各自自分の見たいお店に
別れてお買い物。

敷地が広いので、目的のお店探すのも一
苦勞&試着するにも登山靴やら荷物やら、
何かと手早くできなくて(;^_^A

それでも、私はせっかくなのでレインウェア
(ジャケットのみ)買いました～！」

18 時 31 分軽井沢駅で、18 時 55 分 はくたか 572 号乗車。



【帰郷組 5 人の話】

17 時 41 分 軽井沢発 あさま 628 号の 3 号車自由席に陣取って、恒例の「反省(しない)会」を開催しました。

それでも、軽井沢は近い。



大宮 18 時 28 分(吉松さん)、
東京 18 時 52 分
(堀さん、文さん、池戸さん、根岸)まで、
クマさん会の名前を汚さないように‘静かに、ちびちび’と車中で過し、それぞれ家路につきました。

好天に恵まれ、皆さん満足できた一日でした。

文責： 根岸